

プログラム 9月29日(日)

第1会場 | パピヨン 24 2階 ガスホール

スポンサードシンポジウム

9:30 ~ 11:30

「データベース研究による医療進化—臨床と疫学の融合—」

近年では大学や研究機関のみならず製薬企業も臨床試験だけでなくリアルワールドデータを用いた研究の重要性を認識し始めており、臨床疫学に対する知識向上と実績を積み上げ始めている。それらは市場分析などの用途のみならず、実際に臨床にとっても有用な研究成果を創出し始めている。また、このようなデータベース研究は疫学と臨床が融合し合う事により、発展をさらに進化させるものとする。そこで本シンポジウムは3名の臨床エキスパートが製薬企業と連携して実施し、かつ公表に至ったいくつかの研究経験を発表する予定である。さらに、それぞれの領域での臨床エキスパートと疫学の視点で議論することにより、データベース研究の有用性や結果の解釈に対する注意点、本邦におけるデータベース普及への課題や、さらなる活用について、今後の医療進化についての展望を広げていきたい。

座長 中山 健夫 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 健康情報学分野 教授)

宮田 裕章 (慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授)

演者 1. 三島 和夫 (国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科 精神科学講座 教授)

2. 辻田 賢一 (熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科学講座 教授)

3. 土橋 卓也 (社会医療法人製鉄記念八幡病院 理事長・病院長)

4. 宮田 裕章 (慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授)

共催：武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー4「データ駆動型臨床研究への挑戦と課題」

12:00 ~ 13:00

座長 平松 達雄 (国際医療福祉大学 未来研究支援センター 教授)

演者 中島 直樹 (九州大学 九州大学病院

メディカル・インフォメーションセンター センター長 / 教授)

共催：株式会社 LSI メディエンス

大会長講演

13:10 ~ 13:40

座長 福原 俊一 (京都大学 教授、福島県立医科大学 副学長)

演者 二宮 利治 (九州大学大学院 医学研究院 衛生・公衆衛生学分野 教授)

一般会員 YIA プレゼンテーションセッション

13:40 ~ 14:40

座長 竹島 太郎 (福島県立医科大学 白河総合診療アカデミー 准教授)

O(AW)2-1 Preoperative rehabilitation for patients undergoing colorectal cancer surgery :
a retrospective cohort study

百崎 良

帝京大学医学部附属溝口病院 リハビリテーション科

O(AW)2-2 プレガバリンと転倒関連イベントとの関係

宮本 佳尚
東京大学医学系研究科 内科学専攻

O(AW)2-3 親の *Helicobacter pylori* 除菌不成功と子の除菌不成功との関連

出口 尚人
京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野
武田薬品工業株式会社 メディカルアフェアーズ部

O(AW)2-4 費用効用分析を用いた胃食道逆流症患者の治療戦略の比較：(P-CAB first vs PPI first)

宇田 晃仁
武田薬品工業株式会社 メディカルアフェアーズ部

O(AW)2-5 遺伝的スコアと脳梗塞発症：久山町研究

八谷 剛史
岩手医科大学 いわて東北メディカル・メガバンク機構 生体情報解析部門

産学連携シンポジウム

14:45 ~ 16:25

「臨床現場に即した新たに複雑な治験プロトコール

及びリアルワールドデータによる医薬品評価の最前線と産官学連携」

座長 宮田 俊男 (国立がん研究センター 企画戦略局 政策室長)

演者 1. 山本 史 (厚生労働省 医薬品審査管理課長)

2. 藤川 慶太 (武田薬品工業株式会社
Therapy Area General Medicine, Head
Japan Medical Office)

3. 三宅 邦明 (株式会社ディー・エヌ・エー CMO
DeSC ヘルスケア株式会社 代表取締役社長)

4. 原 聖吾 (株式会社 MICIN 代表取締役 CEO)

田中 暁子 (DeSC ヘルスケア株式会社 事業推進室) 総合討論のみ

表彰式、閉会挨拶

16:25 ~ 17:00

第2会場 | パピヨン 24 3階 12号会議室

一般口演 4 (生活習慣病)

9:45 ~ 10:45

座長 星野 純一 (虎の門病院)

O4-1 大規模健診データを用いた慢性腎臓病有病割合の推定

竹内 正人
京都大学大学院 医学研究科 薬剤疫学分野

O4-2 インスリン抵抗性は BMI と独立して血圧と関連する：神戸研究

平田 匠
東北大学東北メディカル・メガバンク機構
神戸医療産業都市推進機構

O4-3 アレルギー性疾患と子宮内膜症発症の関連

吉井恵理佳
東京大学 医学部医学科

04-4 IgA 腎症病理診断重症度分類におけるベイズの定理を用いた事前確立分析法の検討
中田 健
大分大学医学部附属病院 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座

04-5 Use of First-generation ARBs Before and After the Clinical Trials and Scandals:
interrupted times series analysis
福間 真悟
京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学

教育講演 2 10:50 ~ 11:50

「観察研究でのデータ解析～多変量調整モデル、傾向スコア、操作変数法について～」
治療効果を比較・推定する上で、臨床現場で治療を受けた方々の“Real world”の観察データを用いた研究が注目されている。しかし実臨床の場では、様々な交絡因子が治療効果に影響を及ぼすため、交絡を制御するための解析手法として多変量解析、傾向スコア解析、操作変数法などの方法が用いられている。本教育講演では、これらの方法の基本を紹介し、各手法の長所や短所、注意点を整理する。

座長 福間 真悟（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 特定准教授）
演者 米本 孝二（琉球大学 医学部保健学科 生物統計学分野 教授）

ランチオンセミナー 5 「高齢者のフレイルと漢方薬」 12:00 ~ 13:00

座長 城 大祐（東京大学大学院医学系研究科 ヘルスサービスリサーチ講座 特任准教授）
演者 小川 純人（東京大学大学院医学系研究科 加齢医学 准教授）

共催：株式会社ツムラ

アフターヌーンセミナー 13:40 ~ 14:40

「標準薬物治療のためのフォーミュラリーマネージメント」

座長 宮田 俊男（みいクリニック 院長）
演者 増原 慶壮（日本調剤株式会社 取締役）

共催：日本調剤株式会社

一般口演 5 (AI、医療経済) 14:45 ~ 15:45

座長 漆原 尚巳（慶應義塾大学）

05-1 深層学習をレセプト記載情報に適用した入院予後予測モデルの構築と妥当性検証
松居 宏樹
東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻 臨床疫学・経済学

05-2 The overuse of preoperative haemostasis and ABO blood typing tests in children
米倉 寛
三重大学医学部附属病院臨床麻酔部
京都大学大学院医学研究科社会健康医学系薬剤疫学分野

05-3 日本救急医学会総会・学術集会開催と重症患者の死亡の因果関係
麻生将太郎
東京大学大学院 医学系研究科 臨床疫学・経済学

05-4 救急車有料化に関する疫学研究～救急搬送1件の実費用～
土谷 飛鳥
東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻 臨床疫学経済学
独立行政法人国立病院機構水戸医療センター 救急科

05-5 Using a machine learning algorithm to predict acute GVHD disease following hematopoietic transplantation
新井 康之
京都大学医学部附属病院 輸血細胞治療部・血液内科

第3会場 | パピヨン 24 3階 10+11号会議室

研究実践ワークショップ5 10:15 ~ 11:45
「QOLをアウトカムとした研究を読み解く」

企画責任者

山本 洋介 (京都大学)

ファシリテーター

竹島 太郎 (福島県立医科大学)

矢嶋 宣幸 (昭和大学)

坂西 雄太 (佐賀大学)

宮下 淳 (福島県立医科大学)

ランチョンセミナー6 12:00 ~ 13:00
「患者中心型レジストリの活用～潰瘍性大腸炎アウトカム研究」

座長 福原 俊一 (京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野 教授)

演者 1. 松岡 克善 (東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科 教授)

2. 山崎 大 (京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野 特定講師)

共催：武田薬品工業株式会社

研究実践ワークショップ6 13:15 ~ 14:45
「これでもう査読依頼もこわくない！

チェックリストを用いた系統的査読のすすめ－観察研究編－」

企画責任者

大前 憲史 (福島県立医科大学附属病院 臨床研究教育推進部)

ファシリテーター

片岡 裕貴 (兵庫県立尼崎総合医療センター)

長沼 透 (福島県立医科大学)

高橋 世 (福島県立医科大学)

山崎 大 (京都大学)

堤 悠介 (国立病院機構 水戸医療センター)

伊藤 文人 (国際医療福祉大学)

辻本 康 (医療法人協和会 協立病院)

一般口演 6 (高齢者保健)

15:00 ~ 15:50

座長 佐田 憲映 (岡山大学)

O6-1 低 ALT 値と重度要介護・死亡の関連：LOHAS コホート研究

山崎 大

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野

O6-2 PM2.5 の短期曝露が脳梗塞発症に及ぼす影響：福岡脳卒中データベース研究

松尾 龍

九州大学大学院 医療経営・管理学

O6-3 地域高齢住民における過活動膀胱罹患指標としての身体的フレイル測定の意義：
分析的横断研究－須賀川研究－

大前 憲史

福島県立医科大学附属病院 臨床研究教育推進部

福島県立医科大学 臨床研究イノベーションセンター

京都大学大学院医学研究科 医療疫学分野

O6-4 アドバンス・ケア・プランニング開始時期に関する患者・医師間の意識格差：混合研究法

宮下 淳

福島県立医科大学 白河総合診療アカデミー

京都大学大学院 医学研究科社会健康医学系専攻医療疫学分野

第 4 会場 | パピヨン 24 2 階 14 号会議室

統計ハンズオンセミナー

10:15 ~ 11:45

「観察研究における準実験デザイン (操作変数法・回帰不連続デザイン)」

企画責任者

田栗 正隆 (横浜市立大学 データサイエンス学部)

ファシリテーター

三枝 祐輔 (横浜市立大学)

ランチオンセミナー 7

12:00 ~ 13:00

「エンゲージメントサイエンスを活用した「kencom」によるデータサイエンスの実際」

座長 二宮 利治 (九州大学大学院医学研究院 衛生・公衆衛生学分野 教授)

演者 1. 三宅 邦明 (株式会社ディー・エヌ・エー CMO)

2. 中野 憲 (DeSC ヘルスケア株式会社 事業推進室

データソリューショングループ グループリーダー)

共催：株式会社ディー・エヌ・エー

研究実践ワークショップ 7 「費用対効果の使い方」

13:15 ~ 14:45

企画責任者、ファシリテーター

後藤 励 (慶應義塾大学 経営管理研究科)